

## 「公共建築の日」 2018 フォトコンテスト審査結果・講評

「公共建築の日」フォトコンテストは、平成15年に第1回が開催されて以来、毎年「公共建築」を題材とした作品をご応募いただいております。

今年は、「ひとつどうたても」をテーマとして、四季を通して公共建築を舞台に人々が集う写真を募集し道内外各地から多数の作品をご応募いただきました。

公正な審査の結果、入賞作品を決定いたしましたので、お知らせします。（入賞者名：敬称略）

### 審査委員 全体講評

16回目を迎えた「公共建築の日」フォトコンテストは、122点もの力作が寄せられました。参加者の年齢構成は10代から70代までと幅広く、道内はもとより道外からの参加もあり、このコンテストが広く認知されてきたことを感じます。

撮影対象も全道に広がり、歴史的な建築や身近な公共建築などさまざまでした。全体的にレベルの高い作品が多く、審査員を悩ませながらも、楽しく、かつ厳正に審査が行われました。

次回も公共建築と人々のふれあいを表現した力作を期待しております。

## デジタルカメラ部門

### ★★★グランプリ

山内 佳子

「もうひとつの kitara」

施設名：札幌コンサートホール kitara

### ◆審査委員講評

画面構成が素晴らしい。色調もコントラストを抑え、優しい午後の日射しの感じがとても良い。乳母車が2つバランスよく配置されてとても良い写真。タイトルは Kitara の正面とは別面という意味だと思われる。



★★準グランプリ

増井 道英

「夜桜に映える」

施設名：五稜郭公園

◆審査委員講評

ローアングルからライトアップされた桜を大胆にとらえているのが素晴らしい。後方に五稜郭タワーが白く輝いているのが非常に印象的。桜を大きく配置した構図がとても工夫されている。



★★準グランプリ

久野 穰

「The Old Reflection」

施設名：サッポロビール園  
(サッポロビール博物館)

◆審査委員講評

雨上がりの道路に映ったレンガ建物が幻想的で美しい。夜空にかすかにブルーが残る撮影時間帯を選び、画面の真ん中から上下にスパッと分けた構図も大胆でいい。なかなか気づかないし、あまり見ない写真。



★佳作

佐々木 郁太郎

「サンサン日和」

施設名：北海道庁

◆審査委員講評

本来は逆光である太陽を画面の上部に上手く取り込んだ。サンサンと太陽が輝いている夏の様子が良く表現されている。



★佳作

佐竹 輝昭

「神前の誓い」

施設名：北海道神宮

◆審査委員講評

結婚式の幸せな雰囲気画面から伝わってくる写真。北海道神宮の神殿を真正面からドーンととらえた構図が素晴らしい。



★佳作

竹原 由祐

「対話」

施設名：真駒内霊園

◆審査委員講評

タイトルどおり仏像と対話している雰囲気が伝わってくる写真。仏像を見上げる人物の配置とシルエットが素晴らしい。



★佳作

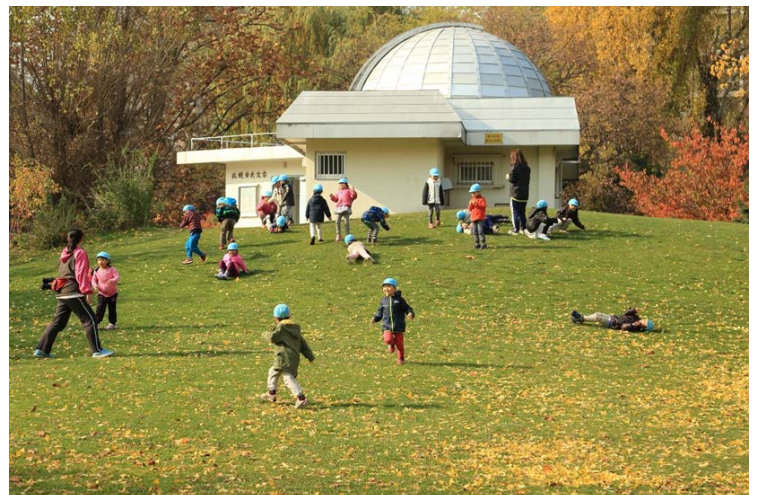
増井 典子

「秋の遊び場」

施設名：札幌市天文台

◆審査委員講評

子どもたちの遊んでいる様子と人物の配置が非常に良い。斜面の上の方にある天文台をうまく表現している。



## 携帯・スマホ部門

★★★特選

齊藤 匡輝

「stop motion 9.6」

施設名：札幌テレビ塔

◆審査委員講評

北海道胆振東部地震のまさに当日で、その日にしか撮れない写真。画面から全体の緊張感が伝わってくる。停電のためテレビ塔の時刻表示が消えているところもインパクトがあって印象的。



★★入選

田中 秀樹

「共存～150年、そして、その先へ～」

施設名：赤レンガ庁舎

◆審査委員講評

北海道を象徴する赤レンガ庁舎に先住民族のアイヌ文様を映し出した画面が、北海道150年記念を意味するタイトルの重みを伝えている。



★★入選

中村 佳弘

「深夜便、旅の始まりは夜霧の中」

施設名：苫小牧港フェリーターミナル

◆審査委員講評

タイトルどおり夜霧の中という雰囲気がある写真。人が一人もない様子が深夜便での旅の始まりを表現している。



★★入選

川勝 康弘

「読書」

施設名：ツインキャップ

◆審査委員講評

秋の季節感が表現されており、読書をしている人物がとても良い。「人が集う」という募集テーマに呼応した写真。



★奨励賞

木下 裕貴

「まってー」

施設名：北海道開拓の村

◆審査委員講評

電車に向かって走っていく子供の後ろ姿が非常に印象的な写真。シャッターチャンスも良かった。



★奨励賞

大谷 章一

「夏の開拓村」

施設名：旧札幌停車場

◆審査委員講評

いい写真であるが、建物と人物をもう少し画面の中央に寄せたらさらに良くなったであろう。



★奨励賞

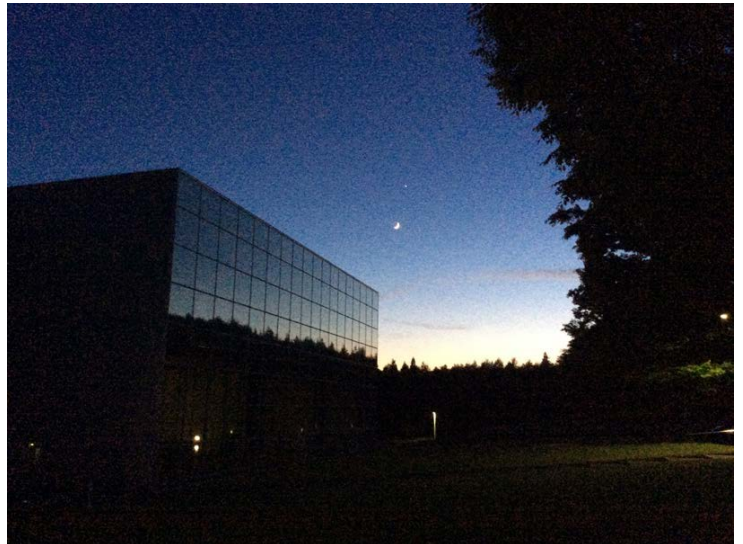
美馬 のゆり

「Meet with Venus」

施設名：公立はこだて未来大学

◆審査委員講評

三日月と金星と一緒に写し込む意図が明確で雰囲気のある写真。難しい写真であるがスマートフォンで撮影したことを評価。



■フォトコンテスト審査

開催日：平成30年10月16日（火）

開催場所：セントラル札幌北ビル 6階会議室

審査員：（有）フォート・アクト 代表取締役	佐藤 雅英
（敬称略） 国土交通省北海道開発局 営繕部長	澤永 好章
北海道建設部 建築局 建築整備課長	大野 雄一
札幌市都市局 建築部 建築保全課長	都築 一雪



事務局より

「公共建築の日」フォトコンテスト事務局は、昨年度までが北海道開発局営繕部でしたが、今回から公共建築協会北海道地区事務局にバトンタッチしました。

募集期間中はずっと気をもんでいましたが、応募総数122点と例年以上の応募をいただきホッとしています。ただ、デジタル部門が96点に対して、携帯・スマホ部門が26点で昨年より少なかったのが非常に残念でした。

応募作品の中には応募要件を満たさず欠格とせざるを得なかったものが数点ありました。具体的には、指定日以前に撮影された写真、公共建築ではない橋や鉄塔などの構造物を撮影対象とした作品です。どれも素晴らしい写真ばかりで、せっかく応募いただいたのに、大変申し訳なく思っています。（北海道地区事務局長 須藤光幸）